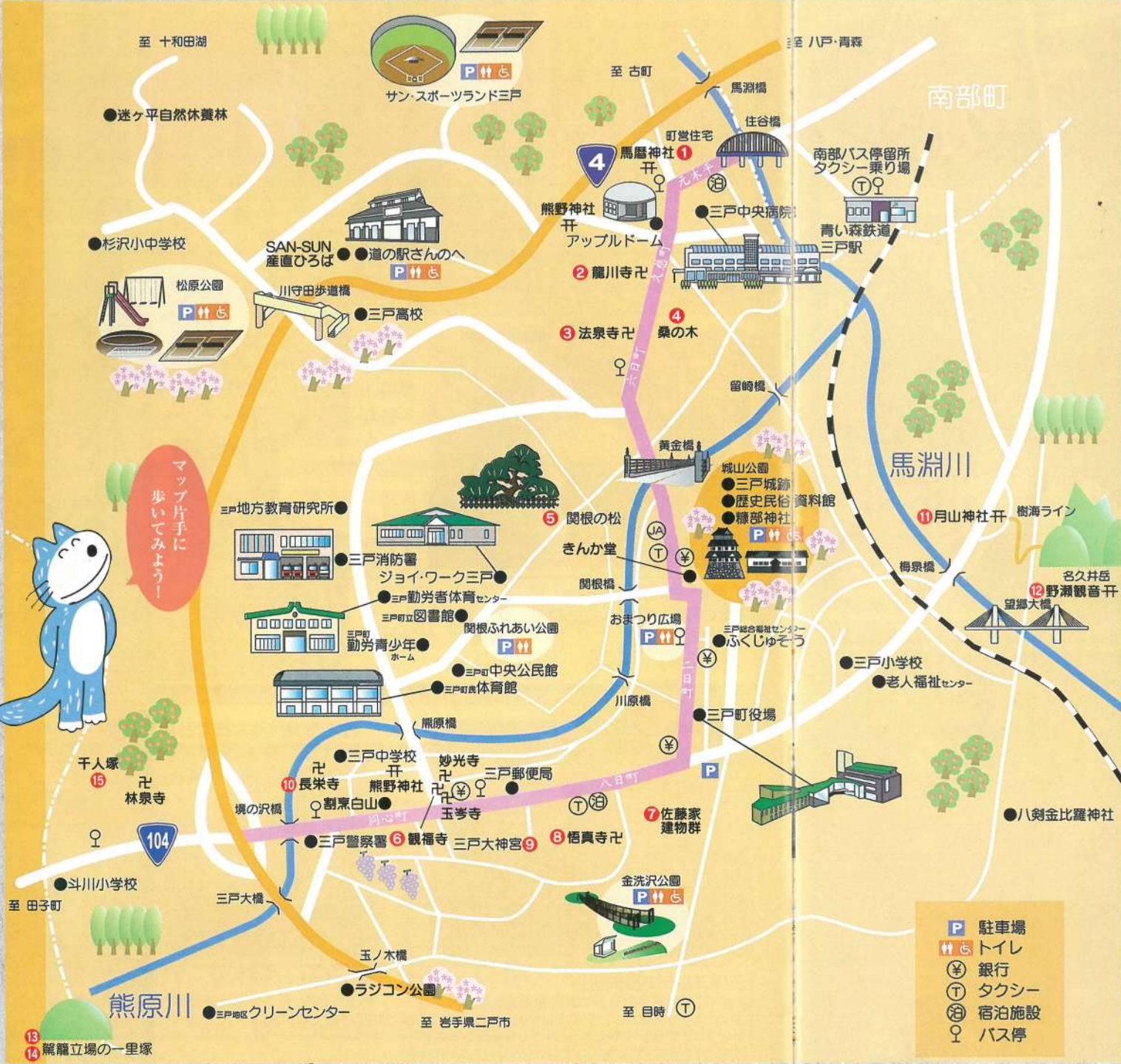


さんのへ町歩きマップ

町のメインストリートは、江戸時代に幕府が整備した「奥州街道」です。街道沿いには寺社が多く、さまざまな文化財を見ることができます。

- 1 鷹馬の碑**
徳川18代将軍吉宗が盛岡藩に下付したペルシア馬の墓碑。寛保3年(1743)の建立で、国内の外国馬産に関する最古の史料。青森県重要文化財。
- 2 龍川寺山門**
三戸城表門の部材を転用して造られたと伝えられる山門。薬師門形式。三戸町指定文化財。
- 3 法泉寺**
法泉寺山門
三戸城表門の部材を転用して造られたと伝えられる山門。欄干形式。三戸町指定文化財。
南部経直公墓所
盛岡藩初代藩主利直の長子である経直の墓所。経直は福岡城(二戸市)の城主であったが、16歳という若さで没した。法泉寺は、経直公の霊を供養するために開山された寺として伝わる。三戸町史跡に指定されている。
- 4 桑の木**
樹齢100年をこす桑の大木。明治～大正時代にかけて、当地方で盛んに行われた養蠶業をしのばせる。青森県天然記念物。
- 5 関根の松**
推定樹齢400年以上。ここは、江戸時代に御野馬別当を勤めた一戸五右衛門の墓園であった。青森県天然記念物。
- 6 観福寺**
観福寺山門
三戸代官所の門を移築したもの。三戸町指定文化財。
十一面観音坐像
もとは、長谷恵光院(南部町)にあったが、昭和4年(1929)に当寺に移された。奇木造で、胎内椽部に天授2年(1376)の銘がある。青森県の重宝に指定されている。
白虎隊供養碑
白虎隊士17名の名前が刻まれた白虎隊供養碑。明治4年(1871)に旧会津藩士大竹秀蔵が隊士の霊を慰めるため、ひそかに建立したものと伝えられる。
- 7 佐藤家建物群**
大正時代に建築された建物で、本店と別邸・碑・門は西洋風造りとなっている。敷地内の5件の建物が国の登録文化財。
- 8 悟真寺(總部三十三カ所巡礼の25番札所)**
阿彌陀如来立像
当寺の本尊。平安時代末～鎌倉時代初頭に作られた町内最古の木彫仏像。
木彫弘法大師坐像
もとは、三戸町同心町に所在した正覚院にあったもの。三戸町指定文化財。
会津藩招魂碑
戊辰戦争後に亡くなった会津人の霊を弔った石碑。明治27年(1894)建立。
- 9 三戸大神宮**
絵馬殿
江戸時代と近代に奉納された大絵馬を多数展示。3点が三戸町指定文化財。
三戸大神宮御興
文政9年(1826)に寄進された御興。三戸町指定文化財。
杉原家の墓
旧会津藩士で日新館学館館を勤めた杉原家は、戊辰戦争後に三戸へ移住。学塾を開き後裔を育成するが、明治4年(1871)に没。杉原を慕う弟子らが、明治19年(1886)にこの墓を建立した。
- 10 長栄寺**
正応の碑
四角錐の石碑で、上部欠損。四面に梵字が一字ずつ刻まれ、東面に正応二年(1289)十二月二十一日造立之字がみえる。青森県重要文化財。
楡山御前五輪塔
楡山御前(楡山御前、連姫)は南部信直の二女で、秋田実季の弟実季へ嫁いたが、縁がなく三戸へ帰郷する。楡山御前は実季と離ればなれのまま、元和6年(1620)没。その後、墓を弔うため、五輪塔が建立される。青森県重要文化財。
- 11 月山神社**
毎年7月25日に数え7歳の男児が月山まで登拝する行事である「泉山七歳児初参り」が行われている。国の重要無形民俗文化財。
- 12 野瀬観音**
總部三十三カ所巡礼の21番札所。
- 13 一里塚**
奥州街道の一里塚で、道の両側に土盛り塚がある。青森県史跡。
- 14 鷹籠立場**
奥州街道の難所である鷹ヶ坂の上にあり、奥州街道最も眺望の良い所。明治9(1876)、14年(1881)の明治天皇御巡幸の際、御小休所になった。
- 15 千人塚**
天明の大飢饉(1784)で死亡した人を弔った塚。林泉寺横領の栗谷川藤右衛門が私費を投じて供養を行った。青森県史跡。



マップ片手に
歩いてみよう!

- P** 駐車場
- T** トイレ
- ¥** 銀行
- T** タクシー
- T** 宿泊施設
- ♀** バス停